第２学年英語科学習指導案

１．単元名　「自分たちの考えを伝えよう」

　　　　　　(Sunshine English Course 2 PROGRAM3 Charity Walk)

２．単元の目標

（１）ペアやグループ活動において、協力し合いながら書いたり、話したりしようとしている。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

（２）「しなければならないこと」や「してはいけないこと」「する必要がないこと」や「～だと思う」などを場に応じて用いて、自分たちの考えを表現することができる。　　　　　　　　　【外国語表現の能力】

（３）義務や命令について述べるmust、必要性や義務を表すhave toや接続詞thatに関する知識を身につける。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　【言語や文化についての知識・理解】

３．単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ア  コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | イ  外国語表現の能力 | ウ  外国語理解の能力 | エ  言語や文化についての  知識・理解 |
| ①ペアやグループ活動において、協力し合いながら書いたり、話したりしようとしている。 | ①「しなければならないこと」や「してはいけないこと」「する必要がないこと」や「～だと思う」などを場に応じて用いて、自分たちの考えを伝えることができる。 |  | ①義務や命令について述べるmust、必要性や義務を表すhave toや接続詞thatに関する知識を身につける。 |

４．単元設定の理由

　本学級の生徒の多くは、基本的な授業規律や学習に向かう姿勢が比較的身についているが、英語に対して苦手意識をもっている生徒も多く、活動に対しても消極的な面が見られる。昨年度実施した標準学力調査では、「単語の並べかえによる英作文」「場に応じて書く英作文」そして「与えられた条件で３文以上の英文を書く」の問題で目標値を大きく下回っていた。基礎的・基本的な英文の定着が不十分であること、自分の考えなどを英語で述べることへの意欲と日本語で表現できてもそれを英語で表すための知識と技能が不十分であることがこの結果に表われていると考えている。そこで、帯活動で既習事項を繰り返し練習し、単語や英文が定着するように取り組んでいる。

チャリティーとは、慈善の精神から行われる活動や団体のことで、その多くが寄付や自分たちの持ち出しで行われる。本課で取り上げているCharity Walkは、参加者が参加費を払い、自分たちも楽しみながら「歩く」という行動によって、他の人々や団体を援助する参加型のチャリティーである。この単元でその意義について学び、このような活動が日本でも海外でも広く行われていることを知り、たとえ規模が小さくとも自分たちも社会に貢献できることを感じとることができる。文法事項においては、義務や命令について述べるmust、必要性や義務を表すhave to及び接続詞thatを用いて自分がどう思うかを表すI think (that)～の文とその構造を学習する。特にI think (that)～を用いて、自分たちの考えを表現する言語活動を通して、まとまりのある文で意見を書かせる場面を設定することができ、コミュニケーションの幅が広がることが考えられる。

本単元で主につけたい力を「自分たちの考えを伝える」こととする。接続詞thatを用いて自分がどう思うかを表すI think (that)～を中心に義務や命令について述べるmust、必要性や義務を表すhave toも活用していきたい。絵や写真を用いて、理解させ、自信をもって使用することができるように音読練習を十分に行い、英文に慣れさせたい。そして、自分たちの考えを英語で表現する場を設定する。個人の思考をもとにペアや小グループで表現活動をし、与えられた課題について仲間と協力しながら取り組むことで、書くことに対しての苦手意識が少しでも取り除ければと考えている。そのために、ヒントカード等を用いて，個人の思考ができるように支援をする。さらに、生徒が意欲的に表現活動に取り組むことができるよう、生徒が表現してみたいなと感じるような場面設定をしたり、完成した英文を互いに見合う場面を設けたりして、学習意欲を高めていきたい。

５．単元の指導計画と評価計画（９時間扱い）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | ねらい・学習活動 | 評価規準 | 評価方法 |
| ２ | 〇〈must＋動詞の原形〉が「～しなければならない」と義務や命令の意味を表すことを理解し、場に応じて用いることができる。  〇〈must not＋動詞の原形〉が「～してはならない」と禁止の意味を表すことを理解し、場に応じて用いることができる。  ・日常生活の中で「しなければならないこと」「してはいけないことを表現する。 | ア①  イ① | 活動の観察  ワークシート |
| １ | 〇Program3　Section1の本文の内容を理解し、〈must＋動詞の原形〉、〈must not＋動詞の原形〉が使用される場面を理解することができる。  ・Readingを行い、ワークシートに取り組む。 |  |  |
| １ | 〇〈have to＋動詞の原形〉が「～しなければならない」と必然性や義務の意味を表すことを理解し、場に応じて用いることができる。  〇〈don’t have to＋動詞の原形〉が「～する必要はない」の意味を表すことを理解し、場に応じて用いることができる。  ・「今日、家でしなければならないこと」「する必要がないこと」  を表現する。 | イ① | ワークシート |
| １ | 〇Program3　Section2の本文の内容を理解し、〈have to＋動詞の原形〉、〈don’t have to＋動詞の原形〉が使用する場面を理解することができる。  ・Readingを行い、ワークシートに取り組む。 |  |  |
| １  (本時) | ○〈I＋think (that) ~〉が「～と思う」の意味を表すことを理解し、自分たちの考えを表現することができる。  ・「宇佐市を訪れた人がしたらよいと思うこと」を表現する。 | ア①  イ① | 活動の観察  ワークシート |
| １ | 〇Program3　Section3の本文の内容を理解し、〈I＋think (that) ~〉が使用される場面を理解することができる。  ・Readingを行い、ワークシートに取り組む。 |  |  |
| ２ | 〇Program3での新出語句や〈must＋動詞の原形〉〈must not＋動詞の原形〉〈have to＋動詞の原形〉〈don’t have to＋動詞の原形〉〈I＋think (that) ~〉について振り返り、それらの知識を身につける。  ・新出語句を用いて、Bingoに取り組む。  ・Joyful Workに取り組む | エ① | ペーパーテスト  （後日） |

６．本時案（９時間扱いの６時間目）

（１）題材名：「宇佐市を訪れた人がしたらよいと思うこと」を伝えよう。

（２）主　眼：接続詞 thatの文について、表現活動で〈I think (that) ~〉を有効に使うことを通して

自分たちの考えを伝えることができる。

（３）展　開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 時間 | 指導（○）及び支援（・） | 評価（※）備考 |
| １．Greeting and Warm-up  （１）あいさつをする。  （２）基本文などの練習をする。  ２．Main Activity  （１）本時のめあてを確認  し、I think that ~とI don’t think that ~の意味をつかむ。  （２）I think that ~とI don’t think that ~を用いて、口頭練習をする。  ３．〈I think (that) ~〉を  用いて、表現活動に取り組  む。  （１）活動内容を知り、活動をする。  （２）作成したものを見合う。  ４．Consolidation  本時の学習を振り返る。 | ５  １５  　アーロン先生の友人が夏休みに宇佐を訪れます。アーロン先生とその友  人は、宇佐で何をしたらよいと思いますか。アーロン先生に伝えよう。  ２５  ５ | 〇テンポよくすすめ、学ぶ雰囲気をつくる。  **I think that ~を使って自分たちの考えていることを伝えよう。**  〇映像を見せて、I think that ~とI don’t think that ~の意味をつかませる。  I think that Usa is very beautiful.  I don’t think that *ramen* is delicious.  〇thatの後に主語＋動詞が続き、thatが「～ということ」を表すことを板書で押さえる。  〇英文をいくつか提示し、それらの文の前に、  I think that ~かI don’t think that ~をつけてペア  で言い合わせる。  〇活動の方法を説明する。  「宇佐市の名所や名産を考えて　どこで、何をしたらよいかI think that you should ~.で表現をしおすすめの理由を１文添える。」  ・表現をするヒントとなるような「宇佐神宮」や  「から揚げ」などのいくつかの名所を挙げさせる。  ・生徒の取組状況に応じて、表現に必要な動詞を提示する。  〇個人から班へと形態を移動させる。班で情報交換をさせて、１枚のワークシートにまとめさせる。  ○作成したものを見せ、仲間が書いた英文を知らせる。  I think that ~とI don’t think that ~の意味を確認し、振り返りシートを用いて、本時の学習を振り返らせる。 | ・ペア活動  ・ワークシート  ・ペア活動  ・ワークシート  ※イ①  ２つ以上:Ａ  　１つ　：Ｂ  ※ア①  ・班活動  ・ワークシート  ・和英辞典  ・まとめシート |

７．板書計画

Monday June twenty-sixth Sunny

　　　　　　Aim I think that ~を使って自分たちの考えていることを伝えよう！

　 I think that 主語＋動詞～：私は～と思います。

　　　　　　　　　　　　　I think that Usa is very beautiful.

　　（私は、宇佐はとても美しいと思います。）

I don’t think that 主語＋動詞～：私は～と思いません。

　　　　　　　　　　　　　I don’t think that Ramen is delicious.

　　　　（私は、ラーメンは、おいしいと思いません。）

　　　　　　　　　　　　　　I think that you should 動詞～.　：　私は、あなたたちは、～すべきだと思う。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（～すべきである）

Today’s lesson

1.Warm-up

2.Presentation of New Material

3.Practice

4.Activity

5.Consolidation

**アーロン先生の友人が夏休みに宇佐を訪れます。アーロン先生とその友だちは、宇佐で何をしたらよいと思いますか。アーロン先生に伝えよう。**

〔動詞〕visit（訪れる） see（見る）

eat （食べる） try（やってみる）

から揚げの写真

宇佐神宮の

　写真